

水道料金・下水道使用料が 変わります

来年4月1日から

来年4月1日から水道料金と下水道使用料が変わります。水道事業と下水道事業の持続的・安定的な経営のため、水道料金と下水道使用料を改定し、水道料金を平均4.8割、下水道使用料を平均10.6割引き上げます。引き続き、業務の効率化とサービスの向上を目指し、将来にわたって安定した水道・下水道サービスの提供を目指します。ご理解とご協力をお願いします。

新旧水道料金・下水道使用料比較表

(消費税10%込み)

	現行	改定後	差額
水道料金	2,926円	3,069円	143円
下水道使用料	2,772円	3,064円	292円
合計	5,698円	6,133円	435円

※平均的な一般家庭の使用量の場合(20立方メートル/月)

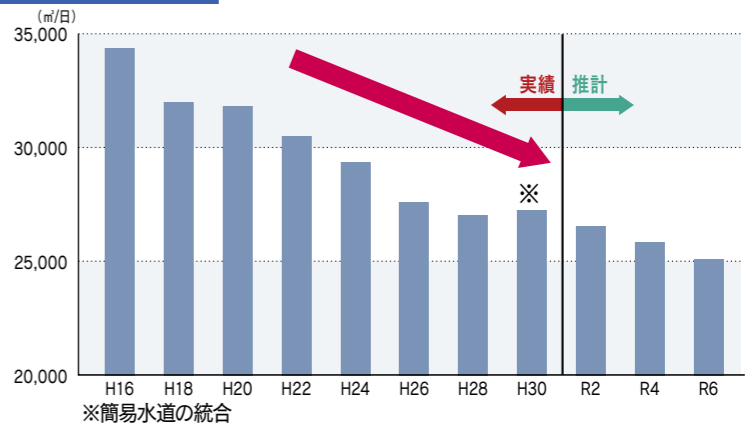
府下の水道料金+下水道使用料

(消費税10%込み)

市町村名	金額
京丹後市	6,992円
綾部市	6,930円
南丹市	6,770円
福知山市	6,319円
向日市	6,149円
舞鶴市(改定後)	6,133円
宇治市	6,058円
宮津市	5,932円
府内平均	5,848円

※平均的な一般家庭の使用量の場合(20立方メートル/月)

水需要の動向



◆市の上下水道の現状と課題
◆人口の減少などで水需要が減少(左図)



◆資産の老朽化に伴い維持管理費や施設等の更新経費が増加：戦前のものも含め、法定耐用年数40年を超過した施設も多い

◆莫大な企業債残高

舞鶴市上下水道事業…324億円
※京都府下平均は236億円

◆上下水道事業の基本方針

持続可能な上下水道事業を運営するため、次の経営方針を定めて事業の運営に取り組んでいきます。

将来に渡り、安全安心で安定的な上下水道サービスを提供するため、施設更新を推進すること

将来の世代に、負債を先送りしないこと
市民負担軽減のため、費用削減に取り組むこと

◆費用削減への今後の取り組み

これまでから、人員削減や施設の規模縮小などに取り組んできましたが、今後も経営改善と効率的な運営を行うために次の項目にも取り組めます。

《広域化による効率化》

不足する水道技術者の人材確保や技術の伝承を目的に実施。

◆取り組み…：経理・料金徴収などの事務、外部委託の共同化、施設管理・更新の共同化

※経営統合、料金統一は実施しない

《水道運営の外部委託》

費用の削減と安全安心の更なる向上を目的に実施。

◆方針…市の職員が管理・監督をする

とで水質の低下や災害が発生したときに責任を持って対応する。

※民営化は実施しない

◆取り組み…：浄水場などの管理委託
料金徴収部門の業務委託

《審議会による答申》

料金と使用料の改定のため、上下水道審議会を開催し、委員の皆さんから答申を受け次の意見がありました。

「将来に渡って365日・24時間継続して安定的に上下水道サービスを行う事が責務」市民負担をできるだけ小さくし、過度な借金により将来世代に負担を先送りしないよう努めるべき「不足する資金については、適切な料金設定により確保すべき」

将来の世代に負債を先送りにしない!



安全安心のために外部の力を借ります



【水道事業会計の資金累計額】

	改定率 (%)	資金状況(万円)			
		R2年	R3年	R4年	R5年
現行料金	-	3,357	△6,944	△13,434	△27,279
料金改定	4.8	12,146	82,604	4,587	578

【下水道事業会計の資金累計額】

	改定率 (%)	資金状況(万円)			
		R2年	R3年	R4年	R5年
現行料金	-	△6,959	△25,734	△37,413	△44,371
料金改定	10.6	4,376	△3,154	△3,673	382

◆料金改定の試算

《基本方針のもと試算した今後4年間の資金不足見込み額》

◆水道事業…約3億円
◆下水道事業…約4億円

《資金不足解消のための料金改定率》

◆水道料金改定率…4.8割
◆下水道使用料改定率…10.6割

上下水道に関する問い合わせ先

【受け付け時間】
平日8時30分～17時15分(年末年始除く)

お問い合わせ内容	電話番号	担当
◆水道の使用開始・中止、使用者の名義変更など ◆水道料金、下水道使用料	62・1632	お客様サービス課 お客様係
◆指定給水装置工事事業者 ◆水道メーターの取り替え ◆下水道排水設備指定工事事業者 ◆下水道排水設備工事責任技術者更新講習と認定試験 ◆水洗便所等改造資金貸付制度	66・1028	お客様サービス課 給排水設備係
◆西市街地の雨水貯留施設(雨水タンク)および宅地かさ上げの補助について	66・1029	下水道整備課

平成30年度 上下水道事業の決算

水道事業会計の収支		下水道事業会計の収支	
収入	支出	収入	支出
19億336万円	16億5,726万円	37億8,860万円	37億6,751万円
5億1,056万円	14億1,594万円	16億2,909万円	30億417万円
2億4,610万円	△9億538万円(※)	2,109万円	△13億7,508万円(※)

※資本的収支の不足額は、留保資金などから補っています。